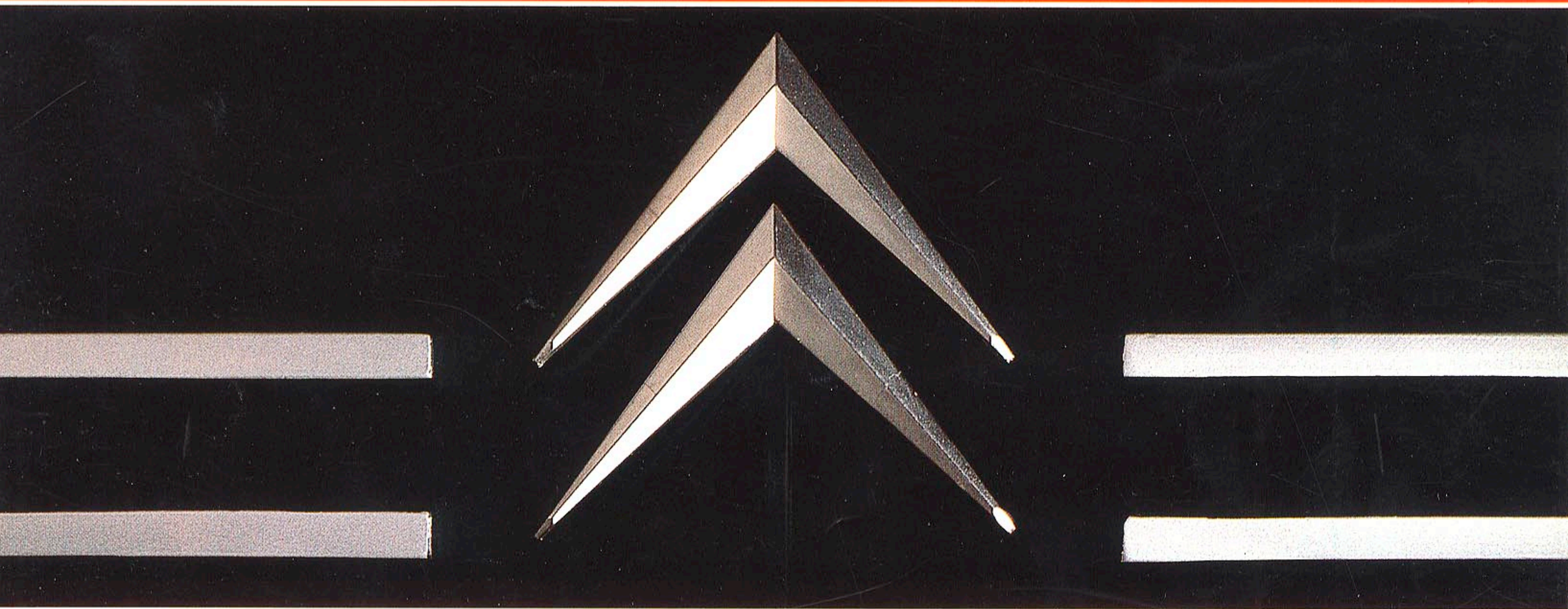


CITROËN

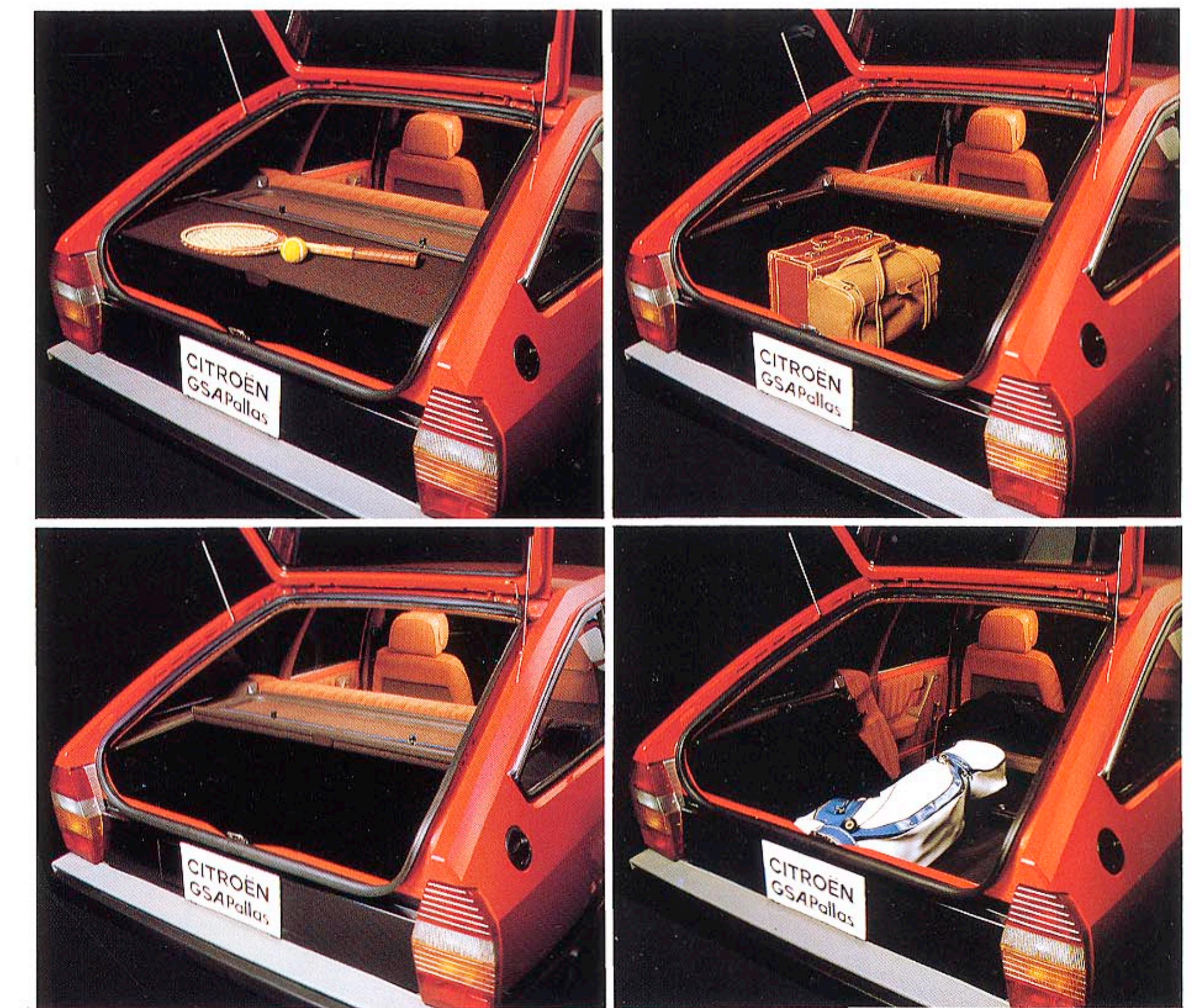
GSA Pallas



SEIBU

驚異のラゲッジ・スペースは、
まさにワゴン感覚。

使いやすさをさらに追求した結果が、このハッチバック・スタイルに表れました。セダンとしての優雅なスタイリングをいささかも損なわず、それでいてワゴン並の機能を併せもつ多目的車こそが、シトロエンGSAといえるのです。いたずらに形だけをまねる世のハッチバック車に対し、その真価を問う自信作。ハッチバックを開けると、そこは左右952mm、奥行970mmのフラットなラゲッジ・スペース。リアシートを倒すと、容積1,240ℓの広大なスペースが生まれます。



知的行動派の「走り」を満たすニューモデル・シトロエン GSA。

エアロダイナミクスの追求から生まれたシトロエンGSAのフォルムは、まさに“知的行動派の走りを満たす”といっても過言ではありません。その先進的で、独創的なスタイリングに秘められた、数々の特長は、小型車のあるべき方向性を限りなく追求した結論ともいえるのです。

例えば、ハイドロニューマチック・システムに代表される走りのメカニズムは、快適な走行性とともに極限の安全性を。そしてまた、ゆとりあるスペースは、2ℓクラスのセダンにも匹敵する居住性を。これらすべてを機能的に結集した車こそが、シトロエンGSAなのです。





知的行動派の「走り」を満たすニューモデル・シトロエン GSA。

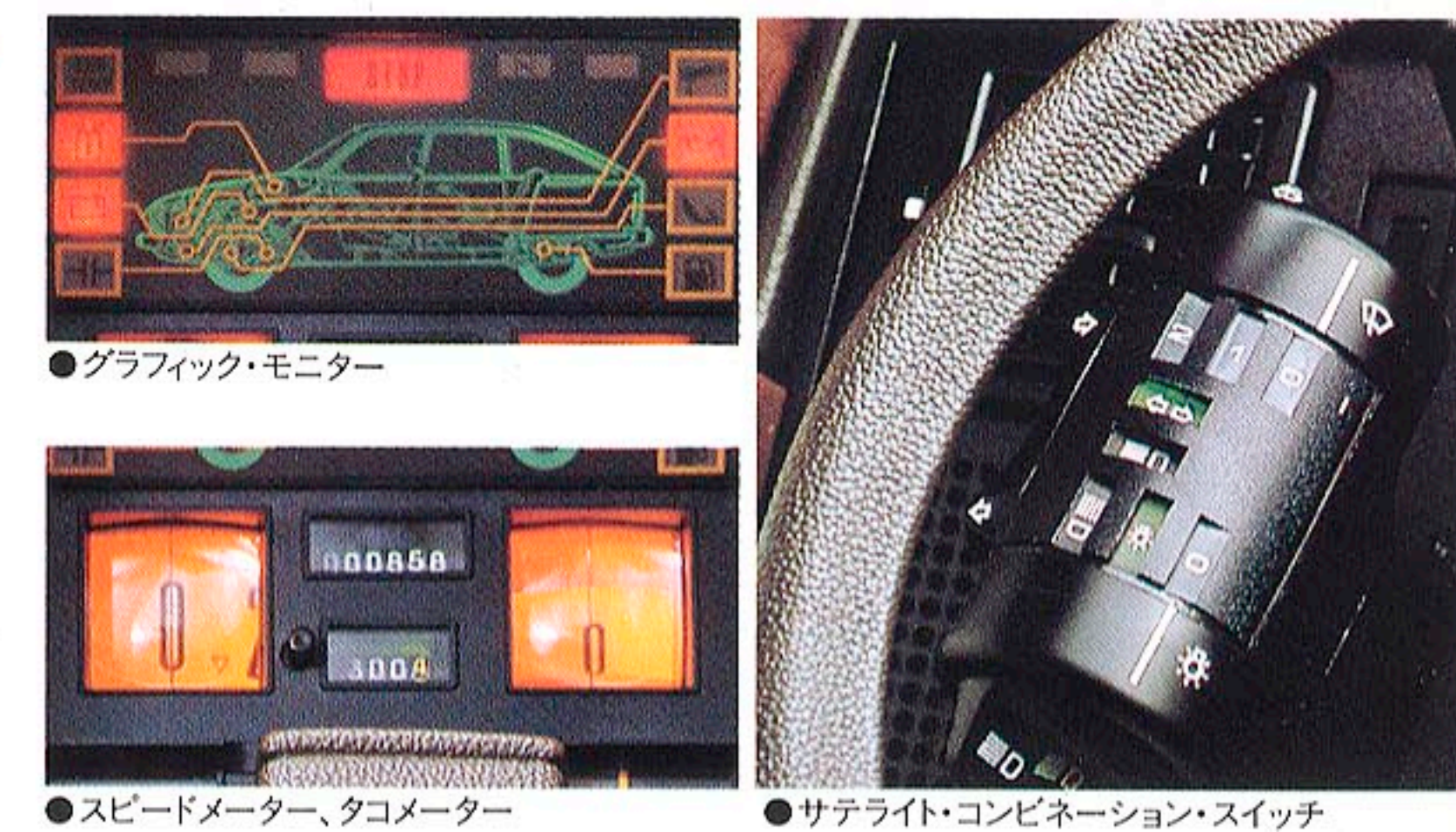
エアロダイナミクスの追求から生まれた シトロエンGSAのフォルムは、まさに“知的行動派の走りを満たす”といっても過言ではありません。その先進的で、独創的なスタイリングに秘められた、数々の特長は、小型車のあるべき方向性を限りなく追求した結論ともいえるのです。

例えば、ハイドロニューマチック・システムに代表される走りのメカニズムは、快適な走行性とともに極限の安全性を。そしてまた、ゆとりあるスペースは、2人クラスのセダンにも匹敵する居住性を。これらすべてを機能的に結集した車こそが、シトロエンGSAなのです。

機能美の極限を追求した、先進のテクノロジー。

インストルメントパネルに集約される、先進の手応え。

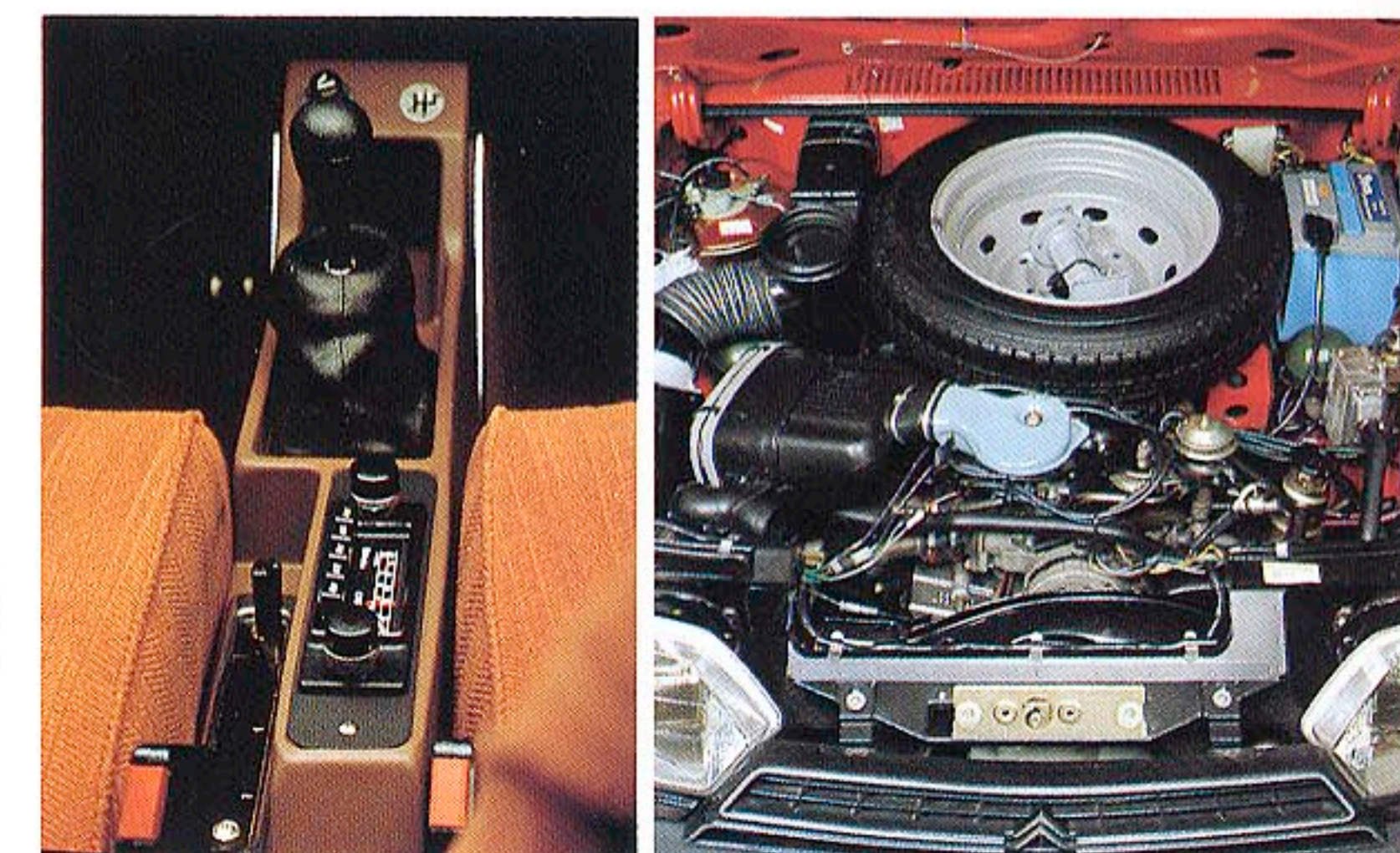
人間工学の粋を結集し、設計された、サテライト・コンビネーション・スイッチ。デジタル表示のスピードメーター、タコメーター、クォーツクロック。そして、車の健康状態を一目で知らせるグラフィック・モニターなど、これらすべては、機能美の追求から生まれた一つの結論なのです。宇宙感覚をも思わせるこのインストルメントパネルは、ドライバーにとって最も重視すべき安全性を、そして数値の読み取りを容易に、しかもより正確な操作性を約束します。



(写真は右ハンドル仕様のインストルメントパネル)

気品とゆとりを演出する快適な居住性。

小型車の常識を越えた広大なルーフスペースは、快適な走りに気品とゆとりを演出します。2,550mmのロングホイールベース、ヘッドクリアランスなど、どれをとっても走りの手応えは十分。また、リアシートにはタイヤハウスの干渉がなく、ゆったりと座ることができます。その上、スペアタイヤはエンジンルームに収納してありますので、トランクルームもワイドに使用できます。しかも、万一の衝突の際に、このスペアタイヤが衝撃を吸収してドライバーを守るなど、快適な乗り心地と安全性を見事にマッチさせています。



●ソフトレバー、ハイトコントロールレバー、AM-FMラジオ ●スペアタイヤ収納、エンジンルーム



優れた乗り心地と安全性を確保する

ハイドロニューマチック・サスペンション。

GSAの比類なき乗り心地と安全性を生み出すハイドロニューマチック・サスペンション。これは、前後輪に連係して流れるL.H.M.という特殊な鉱物オイルとサスペンションの固定ガス室に封入された高圧窒素ガスによる、ユニークなサスペンション・システムです。

ハイドロニューマチック・サスペンションのソフトな乗り心地。

前後に2個設置されたハイトコレクター（車高調整器）が、アンチローバーの動きから車高を感知し、サスペンションシリンダー内のオイル量をコントロールします。これにより、車体は路面の凹凸に関係なく、また人間や荷物を乗せた時にも、自動的に水平かつ一定の高さを保ちます。

ハイドロニューマチック・連動パワーブレーキの高い安全性。

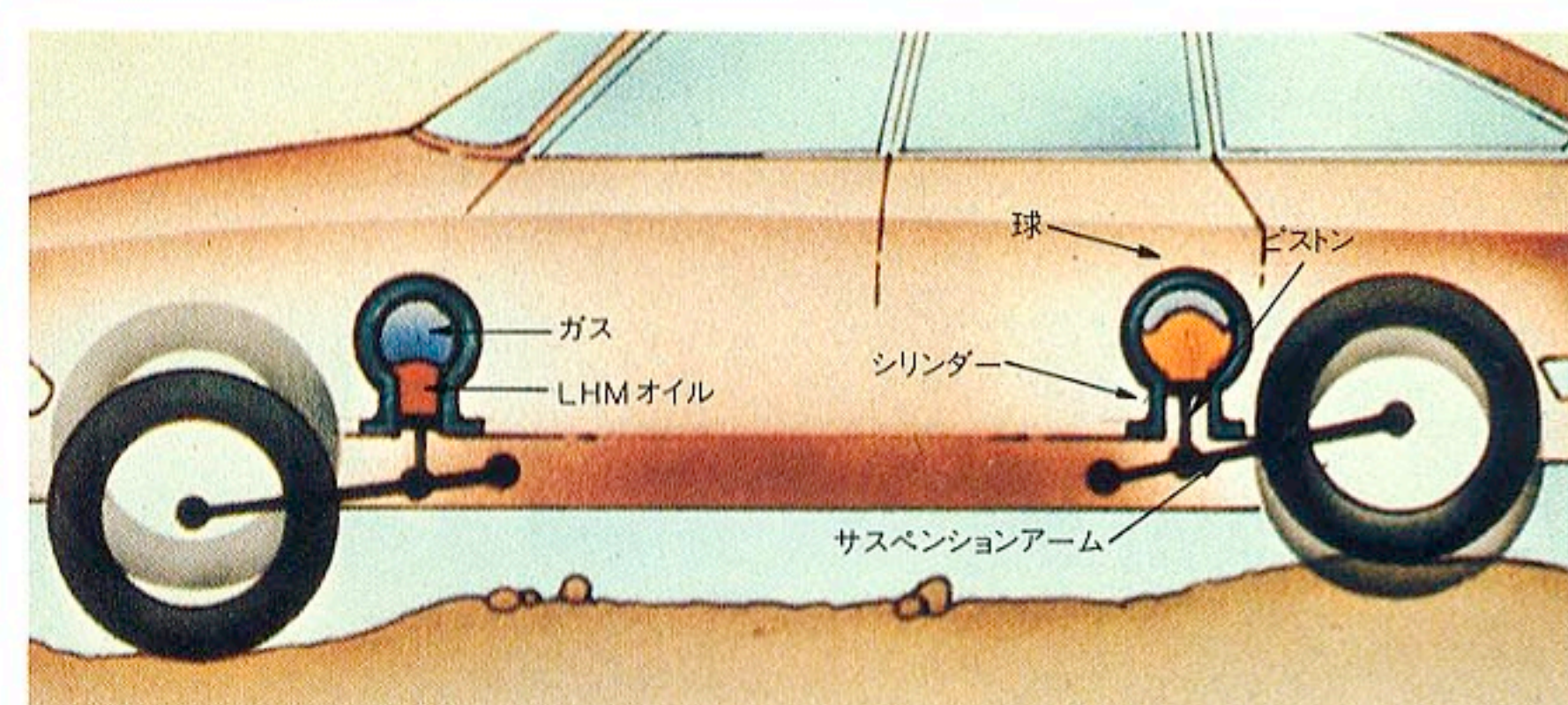
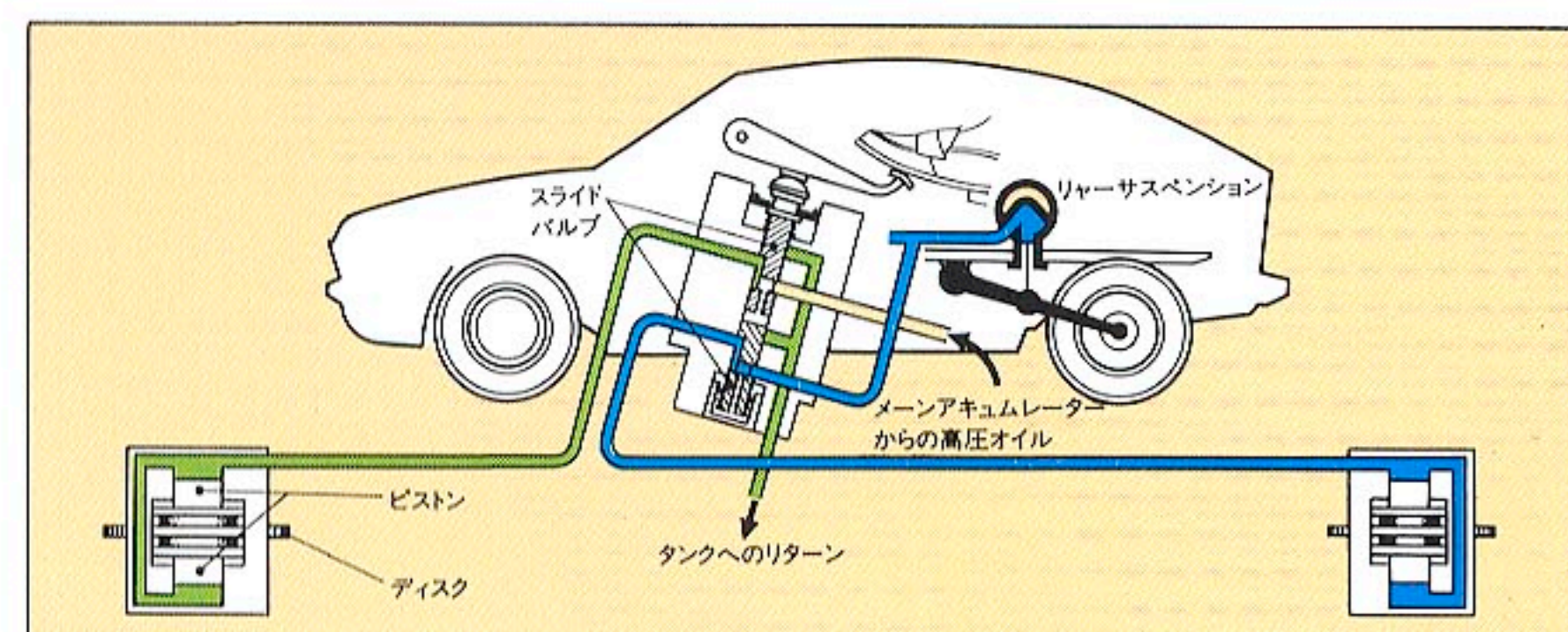
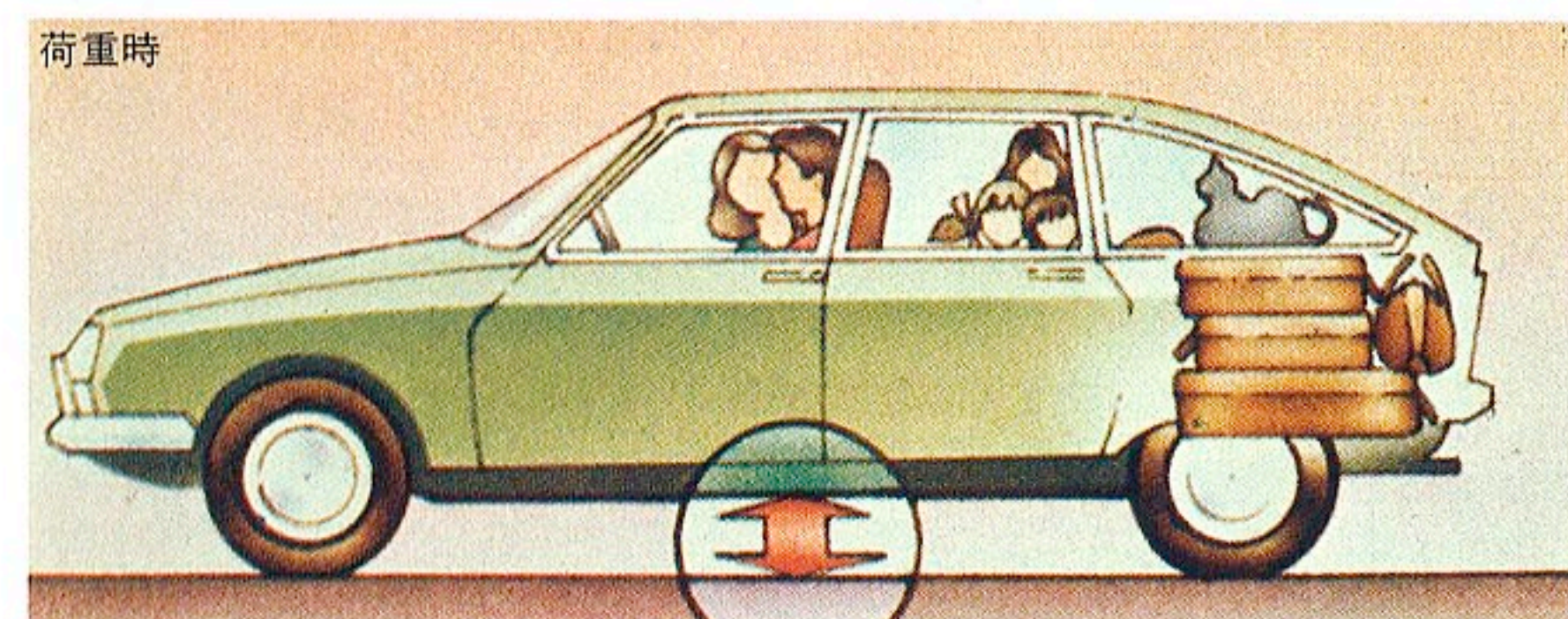
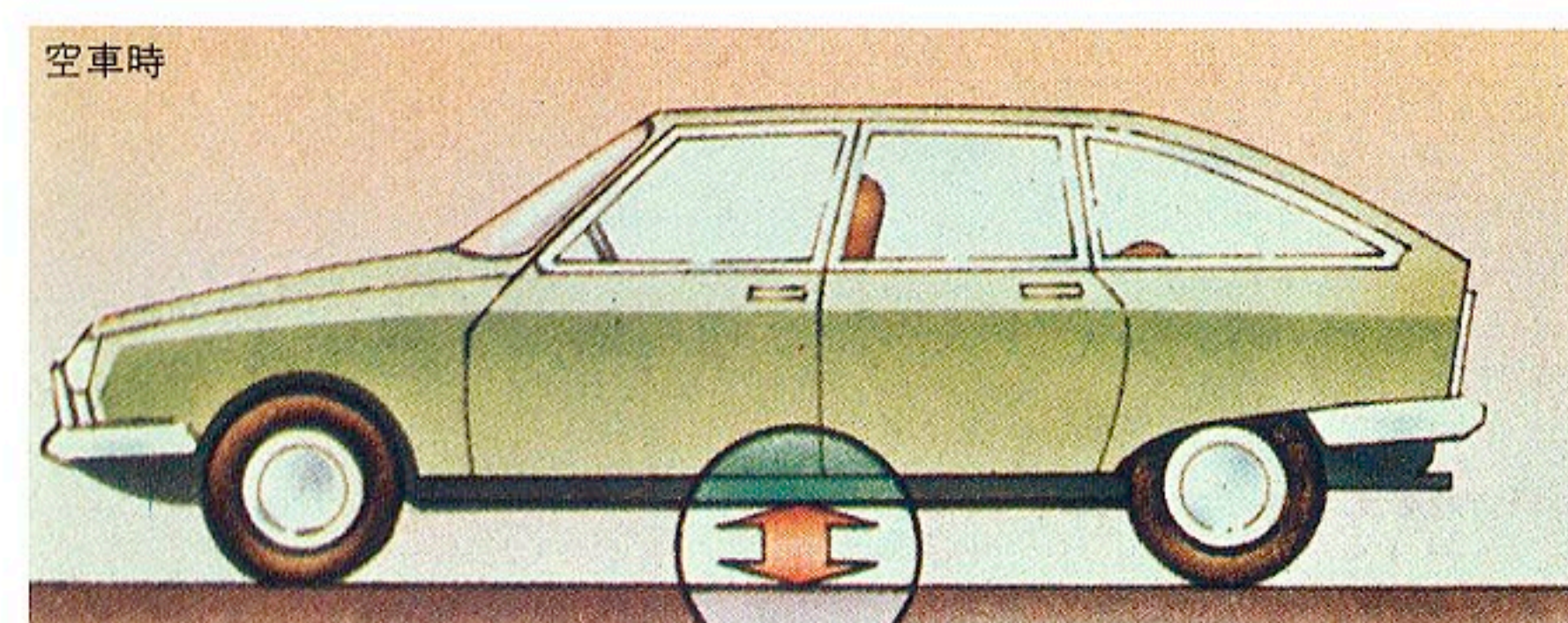
ハイドロニューマチック・サスペンションは、四輪ディスクのパワーブレーキとも連動しています。従って、車輪の負荷状態に応じた制動力が得られるのです。そこで、急ブレーキ時におけるノーズダウン（前のめり）や、前輪の一方がパンクした場合などに起りやすいスピンをも、防止することができます。

※フロント・ブレーキキバット磨耗警告灯
バット内に埋込んだ警告灯電線の動きにより、ランプが点灯し交換を知らせます。

ハイドロニューマチック・手動ハイトコントロールが誇る走行性。

コンソールボックスの車高調整レバーにより、車高を3段階選択することができます。ハイウェイでは、路面に吸いつくような安全走行を、ひとたび悪路に入れば車高を上げ難く乗り切るユニークな走行システムです。

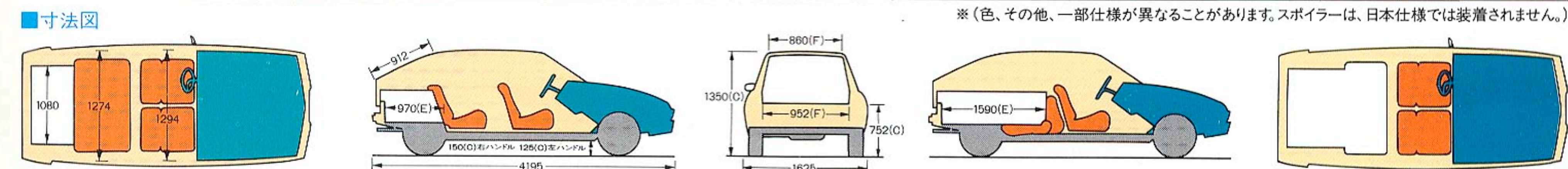
●ハイトコントロールレバー



■SPECIFICATIONS 主な諸元

				●本仕様は改良のため若干異なる場合があります				
寸法・重量	通 称 名		GSAバラス(右ハンドル)	GSAバラス(左ハンドル)	性 能	最高出力(HP/r.p.m.)	52/5,250 (DIN)	65/5,500 (DIN)
	車名及び型式		E-GXG 13	E-GXG 3		最大トルク(kg-m/r.p.m.)	8.4/3,200 (DIN)	9.5/3,500 (DIN)
	全長(mm)		4,195	4,195	変速機	最小回転半径(m)	4.7	4.7
	全幅(mm)		1,625	1,625		4速マニュアルトランスミッション	4速マニュアルトランスミッション	
	全高(mm)		1,350	1,350		前進4段(フルシンクロメッシュ)	前進4段(フルシンクロメッシュ)	
	ホイールベース(mm)		2,550	2,550		後退1段	後退1段	
	トレッド(mm)	前	1,380	1,380		変速操作方式	フロア・チェンジ式	フロア・チェンジ式
		後	1,330	1,330	1速		3.818	3.818
	最低地上高(mm)		150	125	2速		2.294	2.294
	車両重量(kg)		955(965) ()内サンルーフ付	935(945) ()内サンルーフ付	3速		1.500	1.500
乗車定員(名)		5	5	4速	1.031	1.031		
エ ン ジ ン	客室内寸法(mm)	長さ	1,740	1,740	走 行 伝 達 装 置	後退	4.182	4.182
		幅	1,360	1,360		減速比	4.125	4.125
		高さ	1,140(1,130) ()内サンルーフ付	1,140(1,130) ()内サンルーフ付		カジ取り形式	ラック&ピニオン式	ラック&ピニオン式
	エンジン型式		G13	G3		タイヤ(前・後)	ミシュラン・前・後 145SR15X Z X	ミシュラン・前・後 145SR15X Z X
	エンジン種類・シリンダー数		水平対向空冷4気筒 OHC	水平対向空冷4気筒 OHC		主ブレーキの種類形式	油圧全輪ディスク(パワーアシスト付)	油圧全輪ディスク(パワーアシスト付)
	総排気量(cc)		1,299	1,299		作動系統及び制動車輪	2系統/前2輪、後2輪	2系統/前2輪、後2輪
	内径×行程(mm)		79.4×65.6	79.4×65.6		懸架方式(前・後)	ハイドロニューマチックサスペンション	ハイドロニューマチックサスペンション
	圧縮比		7.7:1	8.7:1		4輪独立懸架	4輪独立懸架	4輪独立懸架
	燃料装置		電磁式	電磁式		前2輪機械式・車輪制動形	前2輪機械式・車輪制動形	前2輪機械式・車輪制動形
	燃料タンク容量(ℓ)		43(無鉛ガソリン)	43(無鉛ガソリン)		電 気	バッテリー容量(Ah)	45
エンジンオイル容量(ℓ)		4.0	4.0	オルタネーター(V-A)	交流式12-45		交流式12-40	

※(色、その他、一部仕様)異なることがあります。スイイラーは、日本仕様では装着されません。





●お問合せは———

シトロエン日本総代理店

SEIBU

西武自動車販売株式会社

本 社	〒171 東京都豊島区南池袋2-8-13 電話 03-984-1355代	横 浜 営 業 所	〒240 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 81 電話045-331-1481代
世 田 谷 営 業 所	〒154 東京都世田谷区桜新町1-32-3 電話 03-704-1261代	練馬中古車センター	〒177 東京都練馬区谷原4-7-6 電話 03-995-2717代
練 馬 営 業 所	〒177 東京都練馬区谷原4-7-6 電話 03-995-2717代	横浜中古車センター	〒241 横浜市神奈川区三ツ沢上町4-4 電話045-321-0690代